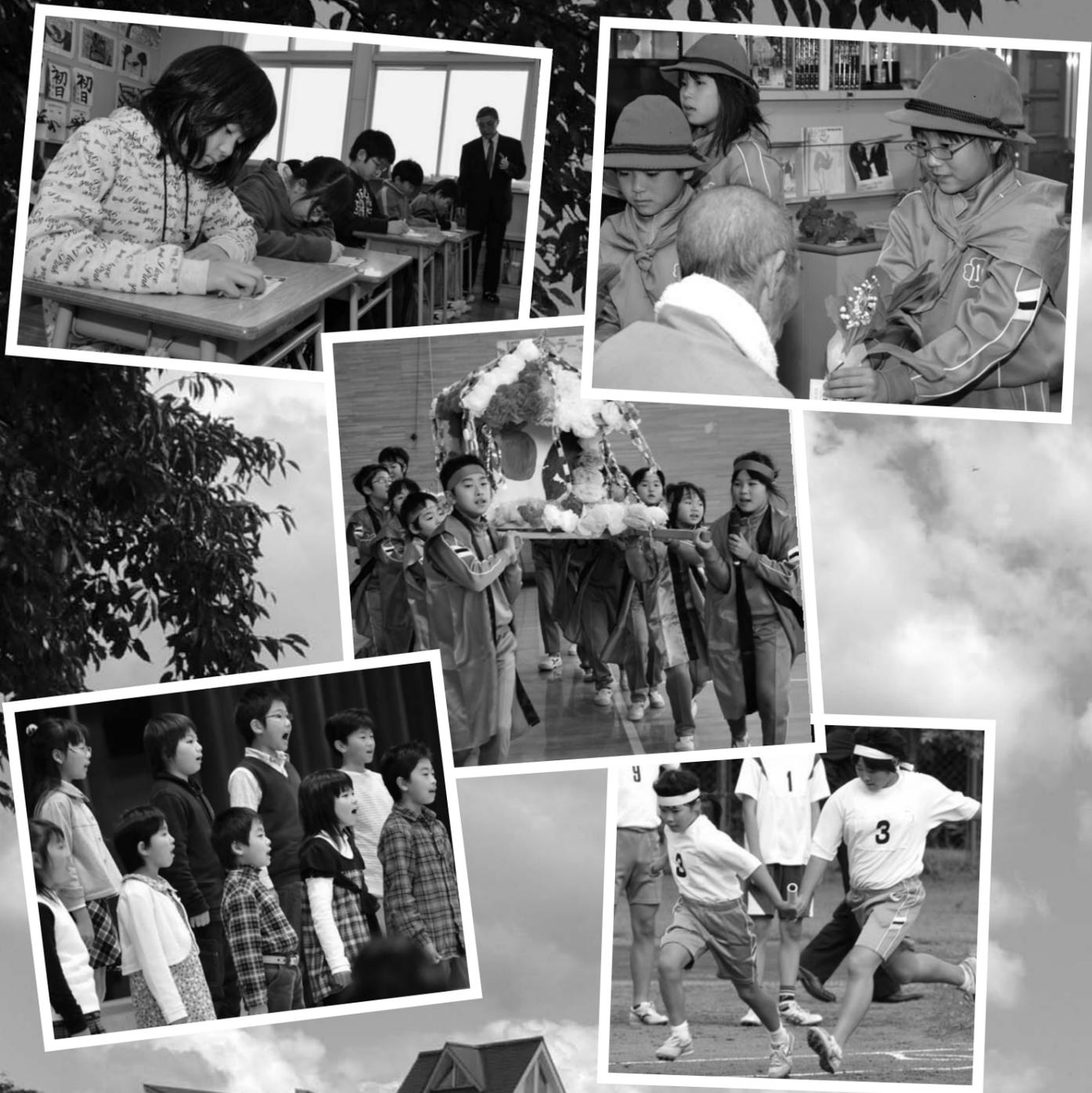


60年分の感謝を込めて—— さようなら、ありがとう 渋川小学校

昭和25年4月に大更村立大更第二小学校渋川分校として創立された渋川小学校は3月31日、60周年の節目に当たるこの日に閉校を迎えました。太平洋戦争の後、食糧増産のために入植した開拓者や地域の皆さんの尽力で創立。昭和36年に西根村立渋川小学校として独立してからも、地域の支えとともに60年の歴史を刻んできました。しかし、少子化が進んだ影響で最大142人を数えた児童も、最後は全校で11人。これまでに639人を送り出してきた、思い出の学びやから、60年分の感謝の気持ちを胸に、11人はそれぞれの道へと旅立ちました。



終戦後間もない昭和21年、131人の入植者によって、渋川の開拓は始まりました。当時は、食糧難を解消するために国を挙げて食糧増産に向けた開拓事業を推進。渋川の開拓も、そうした中で始められた地域の一つでした。

わずかな身の回りの品だけを持ち、入植地に移住した開拓者たちは、農具による手作業で原野を切り開くという、苦難に満ちた開墾作業に明け暮れる日々。電灯もなく、石油ランプの明かりを頼りに夜を過ごしていました。道路事情も現在のようには舗装されたものではなく、雨の日にはぬかるんで泥だらけの道になってしまします。そんな中を子どもたちは遠く離れた大更第二小学校(現・東大更小学校)まで徒歩で通学。とはいえ、子どもの足ではなかなか大変な道のりです。たどり着けず、途中で引き返してくることもあったといいます。

開拓もある程度進行した昭和24年、渋川開拓農協において、分校を建設しようと決議されました。県から補助金50万円、大更村からは建設資材の提供を受け、延べ705日間のぼる努力奉仕を行い、自分たちの手で建設。こうして昭和25年4月、大更村立大更第二小学校渋川分校が誕生しました。

分校誕生後も、地域の後押しは大きな力でした。教室の増築やプール、野球のバックネットなどの設備建設や楽器などの備品を購入するため、寄付や努力奉仕などを行って、児童の教育環境をより良いものとしてきました。

平成5年に、それまでの手作りの木造校舎から現在の校舎に建て替え。地域の大きな要望を受け、木造にこだわった校舎として建設されました。昭和37年から始められたすずらん慰問など、長く続く伝統が児童たちの手で受け継がれてきましたが、昭和50年ごろから60人前後で推移してきた児童数が平成10年ごろを境に急激に減少。21年度には、1人入学したものの児童数は11人になりました。今後の見通しとして入学する児童が見込めなくなり、教育環境を維持していくことが困難になるといふ地域の皆さんの声を受け、21年度限りで渋川小学校を閉校することになりました。

くしくも閉校する22年の3月は、大更第二小学校渋川分校の創立から数えて60年に当たる節目でもありました。人間であれば還暦に当たるとして2月23日、児童たちでお祝いの回を行いました。

渋川小学校として最後の卒業生を送る卒業証書授与式は3月19日、同校で挙行。卒業生の松村咲紀さんへ、佐藤せつ子校長から卒業証書を手渡しました。

地域住民や卒業生などが多数参加する渋川小学校の閉校式は3月19日に行われました。田村正彦市長は「市として、子どもたちのためにどうすれば良いのか、地域とともに考えた末の結論です。学校がなくなっても、この地域の活力を全国へ発信してください」と述べました。佐藤校長は「渋川小学校は、学区民の熱意の思いとともに歩んできました。これからも渋川魂を忘れず、がんばってください」とあいさつしました。

式典の終了後、11人の児童全員で「60年の歴史を築いたわが母校」と刻んだ記念碑を除幕。渋川小学校で学んだ全ての人の思い出と、支え続けた地域の思いを後世へ伝えようと誓いました。

1 ほとんどのが人力によって原野を切り開く当時の開拓作業は大変なものでした。2 地域の子もたちが学ぶ環境をつくりたいとの熱意を結集して開校に結び付けました。3 30周年記念事業などで校舎の増改築も行われました。

地域とともに歩んだ60年の歴史



4 渋川小学校の60歳のお祝いをする児童たち 5 学校の閉校により最後となった卒業式で感謝の思いを込めて校歌を歌う10人の在校生 6 閉校式では創立60周年と閉校を記念する碑を児童全員の手で除幕しました



1 ほとんどのが人力によって原野を切り開く当時の開拓作業は大変なものでした。2 地域の子もたちが学ぶ環境をつくりたいとの熱意を結集して開校に結び付けました。3 30周年記念事業などで校舎の増改築も行われました。



最後の卒業生 松村 咲紀 さん
渋川小学校で最後の卒業生になってしまったということで、少し寂しい気持ちです。ことしは6年生として、児童会長として学校をリードしてきましたが、児童数が少なく行事などを運営するときは大変でした。この1年は良い思い出になりました。

- ▽平成13年9月 創立50周年記念の森除幕式
- ▽平成17年9月 八幡平市立渋川小学校と改称(町村合併)
- ▽平成18年9月 少年消防クラブが岩手県少年婦人防火委員長賞を受賞
- ▽平成19年7月 校舎内に「児童保育クラブ」開設
- ▽平成22年3月 閉校式典挙行(在籍児童数11人)

- ### 渋川小学校60年の歩み
- ▽昭和25年4月 大更村立大更第二小学校渋川分校として現在地に創立
 - ▽昭和35年4月 60年で最高の在籍児童数(142人)を記録
 - ▽昭和36年4月 西根村立渋川小学校として独立
 - ▽昭和36年11月 西根町立渋川小学校と改称(町制施行)
 - ▽昭和37年5月 第1回「すずらん慰問」実施
 - ▽昭和55年9月 創立30周年記念式典挙行
 - ▽昭和56年12月 渋川少年消防クラブ結成
 - ▽昭和57年7月 学校プール落成
 - ▽昭和59年4月 渋川森林愛護少年団結成
 - ▽昭和61年10月 教育情報いわて社の教育表彰受賞
 - ▽平成5年2月 新校舎落成
 - ▽平成6年2月 新屋内運動場落成
 - ▽平成7年9月 森林愛護少年団が全国大会で「松本賞」(みどりの奨励賞)受賞
 - ▽平成8年2月 森林愛護少年団が県教育長より「はばたき賞」を受賞
 - ▽平成8年5月 森林愛護少年団が日本善行会より表彰
 - ▽平成12年8月 50周年記念式典挙行、資料館「すずらん館」寄贈